

子連だより 子ども会

No. 117



子どもたちの体験活動を推進し、 生きる力の育成を

新潟県子ども会連絡協議会 会長 須田 貴子

日ごろより、子ども会活動にご支援ご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

さて、大型連休と言われる長い連休が、今年は五月のゴールデンウィーク以外の九月にも予定され、家族一緒に過ごす時間をどのように過ごすか、今から検討されているご家庭も多いのではないだろうか。

最近、新聞に掲載された「子どもの幸福度（慶応大 小林良彰教授調査・分析）」では、四十七都道府県中、本県は五位にランクされているとのことでした。

その「子どもの幸福度」に関わる要素は「健康」「地域・家族」「安心・安全」「教育」「豊かさ」の五分野から立てられ、健康が四位、地域・家族が十一位、安心・安全と教育がともに十位、豊かさは十二位と本県は五分野ともに上位四分の一に入っていてバランスが取れていると評価されていました。

とはいうものの、昨今の青少年を取り巻く環境は、少子高齢化や都市化の

進展等による異年齢交流や自然体験、生活体験の不足などが指摘されているのも事実です。

情報化社会の進展も、耳を覆いたくなるような報道が日に日に増え、新たなネットトラブル等の問題も引き起こしています。

このような社会の変化の中で、遊びや交流を通した子ども会活動の存在意義が強く求められており、これからの時代を、子どもたちが心豊かにたくましく生きるためにも、子どもに「夢や希望」を与え、新しい時代をたくましく生きる「生きる力」の育成が不可欠になってきているともいえます。

子ども会活動が活発になるとメンバーの動きも多くなり、思わぬ事故の発生が予想されます。特に、メンバーが好む活動、リーダーが活躍する場面は行動範囲も広く、動きも激しい傾向にあるため、安全上の対策が必要となってきます。子ども会の安全活動は、生命の尊厳を自覚し、自分の生命は自分で守るという考え方に徹し、事故を

未然に防ぐ研修も重ねています。これらは子ども会活動に限らず、日常生活でも、かけがえのない尊い生命を自分自身で守るために必要なことではないでしょうか。

そこで本年の活動は、人々とのふれあいや様々なボランティア活動から得るコミュニケーション能力、自己肯定感、思いやりの心などを育てていくためのツールづくりや指導者登録票を活用した人材育成事業、一人ひとりが「生命の尊重」を理解するとともに、自分を大切にし、かけがいのない生命は自分自身で守る「KYK（危険予知活動）」の推進など、会員だけでなく、未加入市町村の子ども会に向けての活動も推進したいと考えております。

子どもたちが、心豊かにたくましく、他人の気持ちをも想像し思いやる心を育てる活動へと展開し、心から「子どもが幸福」といえる地域社会の実現に向け邁進したいと思っております。本年も一層のご支援ご協力を宜しくお願い致します。



第四十回新潟県子ども会連絡協議会 総会南魚沼大会を終えて

南魚沼市子ども会連絡協議会 会長 風間 浩一

〇はじめに

新潟県子ども会連絡協議会総会の第四十回目を、当南魚沼市で開催し、無事終了することが出来たことは地元協力スタッフを代表し感謝申し上げます。

さて、新潟県子ども会連絡協議会（以下、県子連）総会は、平成二十七年五月十七日（日）に南魚沼市塩沢公民館講堂を会場として開催され、同時に「災害復興祈念 子供の遊びの広場 in 南魚沼」も公民館施設を利用して行われました。

開催地の南魚沼市は、新潟県の南端に位置し関東圏との交通の要所ではありますが、なかなか広い新潟県、会場へは一時以上をかけて御参集をいただきました。ありがとうございました。
ご挨拶もそこそこですが県子連総会の報告を以下にすることにいたします。

〇開会式

来賓に県教育庁生涯学習推進課長 坪川充様、南魚沼市教育長 南雲権治様、県教育庁中越教育事務所副参事 龍池規雄様、県生涯学習推進センター

学習振興課長 武樋正之様を迎え、県子連須田貴子会長より開会の式辞をいただきました。その中で、昨今の子ども会を取り巻く諸事情等について、県子連としての取り組みについて決意を述べられました。

引き続き、平成二十七年年度推薦された、育成・指導者が七名、ジュニアリーダーが五名、そして六団体が県子連から表彰されました。

また、平成二十六年度全子連表彰者の紹介もありました。

表彰後、来賓代表より祝辞を頂き、受賞者を代表して見附市今町地区青少年育成会の板垣様より謝辞をいただきました。

〇総会

ここまでの行事は、まさしくセレモニーでした。来賓諸氏を拍手で送り、県子連の総会が開始されました。

議長は、開催地ブロックの理事から慣例により選出されており、本年は私が議長を務めさせていただきました。

議事は、平成二十六年度の事業報告として、会長による総括の後、総務・

指導研修・広報・安全の各部と専門委員会から、事務局からは会計決算報告があり、会計監査報告が成されました。

事業報告と、決算報告に付いて慎重な審議を重ね、これを承認していただきました。

引き続き、平成二十七年年度の事業計画ならびに予算案を審議し、原案どおりで承認していただきました。特に予算では、会員減に伴う収入減から、支出の切り詰めが目立ちました。

最後に、しばらく下越地区の理事枠が平成の大合併の影響で二地区空席となっておりましたが、本年度より理事に一名が就任予定され、同日承認されました。

また、中越地区の理事が一名改選され、これも承認されました。

〇子どもの遊びの広場

小国町子ども会から回を重ねる毎にグレードアップしているエコノートと封筒作りを、妙高市子ども会からはカラフルスライム作り、三条市子ども会ではアレンジしてあるものの

懐かしい、折り紙・紙トンボとカルムを持ち込んでもらいました。長岡市子ども会では鉄板のきらきらシャボン玉。どこに行ってもどの年代にも好評です。柏崎市子ども会からはブラフィルムを使ったバラエティ風車、そして南魚沼市子ども会のガラス絵の具のステンドグラスの六ブースが展覧致しました。

子どもの遊びの広場は会場の関係から、出展ブースを個別部屋に入ったため、他の出展の状況が分かりづらかった様ですが、全体の客足は良好だったようで、各ブース共、大入りで嬉しい悲鳴をあげていたようです。

最後に忘れてはならない、一万個の積み木です。一番夢中になって積んでいたのは保護者ではなかったでしょうか。

〇おわりに（謝辞）

第四十回の周年総会が、当地区開催となったことは何かの巡り合わせと喜んでいきます。

総会実施まで約半年の時間があつたとはいえ、現場はかなり混乱していたことは否めませんでした。その中でも細かな資機材の手配、会場設定に奔走していただいた子ども・若者支援センター職員には感謝申し上げます。

また、遠方より参加していただき、会場の設営から運営までお手伝いいただいた各理事には改めて感謝を申し上げます。



地域の子どもは地域で育てる

―県の取組と子ども会活動への期待―

新潟県教育庁生涯学習推進課 社会教育主事 児 玉 悟

一 はじめに

本格的な人口減少社会の到来やグローバル化の進展、地域社会等でのつながりや支え合いの低下により、子どもたちを取り巻く社会の変化はますます激しくなっています。将来を担う子どもたちは、この社会の中でたくましく成長していくことが求められています。

このような変化に対応したひとつくくりや地域づくりについては、学校、家庭、地域、そして行政が総掛かりで、多角的に支援に取り組む必要があると考えます。

県教育委員会では、地域総掛かりで子どもたちをはぐくんでいくための取組について、さまざまな施策や事業支援を実施しています。その中から、「放課後子供教室」と土曜学習について紹介します。

二 「放課後子供教室」

「放課後子供教室」は、すべての子どもたちを対象に、地域の方々の参画を得て、平日放課後や土曜日等に学習や様々な体験・交流活動、スポーツ・文化活動等の機会を提供する取組のことです。

「放課後児童クラブ」と混同されがちですが、放課後児童クラブは昼間保

護者が働いている時間帯に「生活の場」を提供することを目的としているのに対し、「放課後子供教室」は「学習や体験の場」を提供するものであり、子どもの参加費が原則無料で、地域住民が宿題のアドバイスをしたり体験活動の支援を行ったりすることが特徴です。昨年七月、国は「放課後子ども総合プラン」を策定し、「放課後子供教室」と放課後児童クラブの一体的な実施を計画的に進める方針を打ち出しました。両者の取組の長所を生かしながら、放課後の子どもたちの過ごし方が有意義になるように、県としても支援していきたいと考えています。

県教育委員会では二十七年度に、既に活動している「放課後子供教室」への支援とともに、これから開設を予定している市町村への支援を行うため、さまざまな研修やセミナーを実施します。

(一) 市民先生発掘セミナー
「放課後子供教室」をはじめさまざまな教育支援活動の指導者にあたる「市民先生」に関心のある地域住民を対象に、県が取組の方法等について出張講座を実施します。

(二) 地域連携コーディネーター養成スクール
既にボランティアやスタッフとして

地域の活動にかかわっている方に、活動をコーディネートするスキルや手法を身につけていただき、地域でのコーディネーターとして活動に参画できるよう支援する研修を実施します。

(三) 「放課後子供教室トライアル」
先進的な「放課後子供教室」を行っているコーディネーター等が講師となつて実際の「放課後子供教室」を体験していただくことにより、未実施地域における導入をサポートする取組です。

(四) 「放課後子供教室・放課後児童クラブ連携セミナー」
県外のNPO等の実践者による講演と県内での実践発表からなるセミナーを実施し、「放課後子供教室」と放課後児童クラブが連携した取組の拡充を図っていきます。

三 土曜学習の取組

土曜学習とは、土曜日や休日に教育委員会やNPO、企業等、学校以外の地域住民が主体となつて、希望者に対して学習や体験活動を行う取組です。いわゆる土曜授業との大きな違いは、土曜学習の実施主体は学校の教員ではなく地域住民であるということです。

県では二十六年度からモデル事業を

開始し、中学生を対象とした補習等の学習講座や県の研究機関を活用した特別講座への取組に対して支援を行っています。二十七年度は対象を小学生にも広げ、より多くの地域から取り組んでいただき、その取組を周知していきます。

先述した大きな社会の変化の中で、子どもが地域に帰る放課後や土曜日にこそ、地域の教育力が問われる時代になっています。子どもたちにとって、地域において安全で有意義に過ごせるように、県教育委員会としても地域の取組を積極的に支援していきたいと考えています。

四 子ども会活動への期待

先に挙げた「放課後子供教室」や土曜学習は地域住民が主体の事業であり、「地域の子どもは地域で育てる」という気運を高めるための取組です。これは、子ども会が持つ本来的な使命と重なってくるように思います。少子化が進行し、変化の激しい社会をたくましく生きる子どもを育てるために、子ども会活動と大いに連携し、地域の教育力の向上に寄与していきたいと考えます。

県教育委員会としても、県教育振興基本計画に掲げた「ふるさとへの愛着と誇りを胸に、粘り強く挑戦し未来を切り拓く、たくましいひとづくり」を実現するため、市町村教育委員会や関係諸機関との連携を図っていく所存です。

子ども会の活動がさらに充実・発展していくことを祈念いたします。

上越地区

伝統行事

おしよらいに参加して

妙高市和田地区月岡子ども会

六年 馬場すみれ

私の地区月岡では、古くから伝わる伝統行事おしよらいというものをしています。おしよらいは、月岡のお墓を廻って、仏様をむかえる行事です。おぼんに行われるため、暑くてとても大変です。昔は夜に行われていましたが、今は午前中に行われています。おいのりをささげながら、お墓をまわります。おいのりは、「なんまんたぶ、なんまんたぶ、今日は〇日のおしよない、なんまんたぶ、なんまんたぶ。」

を言って歩きます。和田地区の中で百年以上前から続いている行事だと聞きました。和田地区でも百年続く行事はあまりないのでうれしいです。

自分で毎年おしよらいに参加してうれしかったことは二つあります。

一つ目は、地域のひととのふれあいができることです。毎年参加すると「いつもくろうさま！ありがとうございます。」

また、「先祖様もよろこんでいるよ、来年もよろしくね。」

などのやさしい言葉をかけてもらったり、おじいちゃん、おばあちゃんと話をし、交流を深め、地域の人と関わりが深くなりました。そして、このおしよらいを通して、自分から積極的にあいさつができるようになったし、自分自身の性格も明るくなりました。

二つ目は、私の知らない月岡を発見できたことです。おしよらいで、いったことのない場所へ行ってその場所を知ること、こともあってよかったです。毎年、ちがう場所が増えるので、自分自身すごく得をしたと思いました。

最後に、私はこれからもおしよらいを大切にしていきたいと改めて思いました。今年で最後なので、仏様をやさしくむかえる気持ちでがんばります。その他にも、お祭りのおみこしや、さいの神などを最上級生として下級生をまとめて楽しい子ども会にしたいです。



中越地区

楽しいさいの神

南魚沼市欠之上子ども会

六年 諸橋 瑠菜

私は、一年生から子ども会でさいの神作りに毎年参加してきました。作るのが大変だったけど楽しくていつも頑張って続けてきました。

大変だったことは、稲刈りが終わると農家さんの家を回り、わら集めをします。

それを冬まで保管する倉庫まで運びます。ワラはちくちくして、重くて運ぶのが大変でした。それを一月のさいの神の日に運び出して作ります。

まず、朝から各家を回って正月に飾ったしめ縄、書き初めと、だるまやお札など集めます。

私たちの地区は、とても雪が多く降り、いつも三メートル位あります。さいの神を作る場所は、大人の人たちが平らにしてくれませんが、雪が多くて平らにするのはとても大変だと感じました。

最初に芯棒を雪の上に立て、棒の周りにワラを大人のひとたちと一緒に組んでいきます。しめ縄で周りに飾り付けをして、一番上にだるまを飾るときれいにでき、すごく感動しました。

毎年、さいの神を作ったその日の午後三時になると、村の人達も集まって来て、ワラに火を付けます。

私は長い竹ざおに、スルメやマシユマロを付けて焼きます。最初は火の勢いが強すぎて、熱くて近づくとできないので、少し火が弱まってからじっくりと焼きます。スルメが香ばしく甘く感じ、美味しかったです。

村の大人の人達と顔を合わせあいさつをし、いろんな話をしたり、友達と雪の山で遊んだりして楽しかったです。

近所のおじいさんから、「村の伝統行事を、子ども会で続けてもらってありがた。」と感謝されました。

私は、さいの神作りは今年で最後になりましたが、とても楽しいです。



行事なので伝統を引き継ぎ、下級生にはいつまでも続けていってほしいと思います。



下越地区

子ども会の思い出

新発田市米倉子ども会

六年 津村 洸ひかり

わたしが、去年の子ども会で楽しかった事が二つあります。

一つ目は、夏休みにやったオリエンテーリングです。少年自然の家で行いました。

クイズが好きな友達が一緒だったし、協力してできたので、思ったよりも早くゴールができました。昼ごはんは、お母さんたちが作ってくれたカレーライスで、ご飯もかまどで炊いてもらいました。とてもおいしかったです。



二つ目は、ボーリング大会です。

ボーリングの球を転がすのが楽しいし、たくさん点数がとれたのがうれしかったです。仲の良い友達が一緒だと気分が上がるし、会話をしているとても楽しいです。

ストライクやスペアをとると、みんなでハイタッチをして、とても盛り上がりました。ボーリングが終わり、集落センターでフライングディスクで遊びました。予想以上に高く飛んだので、びっくりしました。でもとても楽しかったです。

去年の一年間の子ども会は、とても楽しかったです。

今度の子ども会は、海やプールに行つて、友達や家族と思いきり楽しみたいです。

佐渡地区

ガラスのおさづくり

さとし羽茂ちく村山子ども会

三年 はたの かなで

冬の子ども会で、わたしたちはガラスさいくをしました。わたしはお母さんから「こんどの子ども会でガラスさいくをするよ」と聞いて、とても楽しみにしていました。

ガラスさいくは、白のおさらに分の好きな色やかたちのガラスをのせてデザインします。たくさんきれいな色のガラスがあつて、わたしは、どんなデザインにしようか、とてもまよいました。

いっしょに行つた子ども会のもたちも、いろいろなデザインにして、まよっていました。わたしは、とうめいな色のきれいなガラスがあつたので、それでお花のかわをデザインしました。色がたくさんあつてまよつたけど、四色のお花ができました。それから、まわりをピンクと赤のガラスのついでふちどりしました。

デザインがきまつたら、ガラスをポンドでおさらにくつつけて、あとはガラスこうぼうの人がやいてくれました。かんせいまで一ヶ月くらいかかりました。

かんせいしたおさらは、今おへやにかざつてあります。とても楽しかったので、また子ども会でやりたいです。

楽しかった子ども会

さとし羽茂ちく村山子ども会

三年 木下 幸音

十二月に、子ども会でとうきゅう生とガラスさいくをたいけんしました。おさらを作りました。円い白のおさらの上に、いろいろな色や形をしたガラスをならべて作ります。

まず、デザインを考えました。すきなデザインで、自分の好きな物を考えてみました。ぼくの好きな物は、ポケットモンスターと、妖怪ウォッチです。その中で、妖怪ウォッチの「Aランク」にきめました。ほんとに、妖怪の絵にしたかったけど、ガラスで作るのは、むずかしかったので、ことばにしました。たくさんのおさりのうちの中からは、ちよいといの形と大きさをみつけるのは、たいへんでした。

デザインがきまつたら、ポンドでのりつけて後は、やいてもらつてできあがりをつだけけです。

一か月くらいしたら、おさらができあがりました。作る時はひらべったかったのに、できあがったのは、ちゃんと丸いおさらの形になっていました。

こんかいは、かんたんなデザインしか、できなかったけど、またちようせんしてみたいです。



平成27年度 県子連運営基本方針・事業



(1) 県子連運営の基本方針

- ① 時代の要請の応える子ども会づくり
 - ・子ども会の果たす役割や意義を理解し、地域にも広めよう。 ・広報活動等を通して、情報発信基地の役割を果たそう。
- ② 子どもの手による子ども会づくり
 - ・地域の力を結集し、子どもが主役のドラマを創ろう。 ・子どもたちが自ら考え、工夫する場面をつくろう。
- ③ 指導者研修の充実
 - ・子ども会K Y T指導者研修会に進んで参加しよう。 ・ジュニア（シニア）・リーダー研修会に進んで参加しよう。
- ④ 県子連と市区町村子連の連携強化
 - ・県子連の情報を市区町村子連に伝え、認識の共有化を図ろう。
 - ・市区町村子連代表（理事等）は、情報を確実に事務局に伝えよう。

(2) 各指導部の重点項目

<総務部> 【重点目標：加盟団体の会員拡大と未加入市町村の解消を図ろう。】

1 第40回総会 南魚沼大会

功労者表彰・事業報告・決算・事業計画・予算等の審議をする。

(1) 期 日 平成27年5月17日（日） (2) 会 場 南魚沼市 塩沢公民館

(3) 内 容 表彰式・議事・全子連表彰者（団体）の紹介等

2 平成27年度の理事会

	摘 要		懇 親 会
第1回	期 日	平成27年6月7日（日）	有リ
	会 場	新潟市大畑少年センター	
	時 間	午前10時00分～午後3時00分	
第2回	期 日	平成27年12月6日（日）	なし
	会 場	長岡市 さいわいプラザ	
	時 間	午前10時00分～午後3時00分	
第3回	期 日	平成28年3月6日（日）	有リ
	会 場	新潟市大畑少年センター	
	時 間	午前10時00分～午後3時00分	

3 災害復興祈念事業「子どもの遊びのひろば」

第23回 日 時 平成27年5月17日（日）午後12時30分

会 場 南魚沼市塩沢公民館

第24回 日 時 平成27年7月11日（土）午前11時00分から午後3時00分

会 場 弥彦体育館

4 平成27年度各地区事業計画

		総 会	子ども交歓大会
上越地区	期日 会場	5月29日（金） 上越市：附船屋	11月7日（土）～8日（日） 国立妙高青少年自然の家
中越地区	期日 会場	5月10日（日） 柏崎市市民プラザ	11月23日（月） 加茂市市民体育館
下越地区	期日 会場	5月31日（日） 新潟市生涯学習センター	10月25日（日） 阿賀野市公民館
佐渡地区	期日 会場	5月22日（金） アミューズメント佐渡	11月28日（土） サンテラ佐渡スーパーアリーナ

<指導研修部> 【重点目標：ジュニア・リーダー研修会を充実させ、青年指導者を育成しよう。】

1 ジュニア・リーダー中級研修会

第1回 期 日 平成27年6月20日（土）～21日（日） 1泊2日

会 場 県立青少年研修センター

第2回 期 日 平成27年10月31日（土）～11月1日（日） 1泊2日

会 場 国立妙高青少年自然の家

第3回 期 日 平成28年3月19日（土） 一日（日帰り）

会 場 長岡市 千手コミュニティセンター

2 関ブロ子ども会ジュニア・リーダー大会

趣 旨 中学生・高校生を対象とする研修会を開き、研修・情報交換等を行うことによりジュニア・リーダーとしての資質向上を図る。

期 日 平成27年9月20日(日)～22日(火)

会 場 静岡県朝霧野外活動センター

その他 県子連主催のJL中級研修会に参加していることが条件となる。

参加費は県子連負担、食費は個人負担、マイクロバスで参加予定

3 全国子ども会シニア・リーダー研修会

趣 旨 ジュニア・リーダーを育てる組織としてシニア・リーダーの研修会を開催する。この研修会では、子ども会経験者のみならず、広く一般の大学生や社会人の参加も図り、シニア・リーダーのあり方、ジュニア・リーダーの指導方法、地域の子ども会活動への関わり等について研修を行う。

期 日 平成27年11月実施予定

会 場 国立オリンピック記念青少年総合センター(東京)

その他 参加費(夕食・宿泊・朝食・昼食)は県子連で負担する。

交通費は5千円補助する。研修会終了後は、JL等の指導に当たる。

<安 全 部> 【重点目標：子ども会KYTを活用して、安全教育(安全な活動)をすすめよう。】**1 新潟県子ども会KYT指導者養成講習会〈初級コース〉**

(1) 期 日 平成27年7月12日(日)

(2) 時 間 午前9時30分～午後3時30分

(3) 会 場 三条市青少年育成センター(旧三条市立南小学校)
三条市本町3-1-4 TEL 0256-32-0908

(4) 内 容 ア 子どもの安全教育と子ども会KYT イ 子ども会KYTのすすめ方
ウ 子ども会KYTの指導の仕方

(5) その他 参加費 無料 昼食弁当県子連で負担
全国子ども会連合会の柴田俊明専門委員を講師として依頼済み
希望者には修了証・認定証を発行する。

2 関東甲信越静地区子ども会KYT中級指導者養成講習会

ア 期 日 平成27年11月21日(土)～22日(日)

イ 会 場 群馬県青少年会館(前橋市)

ウ 時 間 第1日13時～第2日15時

エ 内 容 初級指導者講習会より一歩進み、安全教育全般に関して学習する。対象者により分かりやすいKYT講習の手法を学ぶと共に、子ども会KYT指導者初級養成講習会の講師が務められる子ども会KYT中級指導者の養成を目指す。

オ 経 費 参加費(未定)円 宿泊費(未定)円(食費は別途)

カ その他 県子連の初級指導者講習会終了者

3 第48回関東甲信越静地区子ども会育成研究協議会兼第46回全国子ども会育成中央会議・研究大会「全国子ども会創立50周年記念事業」

子ども会の育成指導者としての技量を高め市町村子連や子ども会の地域活動の活性化に役立てる。

ア 期 日 平成27年10月17日(土)～19日(月)

イ 会 場 群馬県渋川市伊香保町「ホテル小暮」 TEL 0279-72-2701(代)

ウ 参加者 約30人(宿泊費等 未定(個人負担) 貸切バス 県子連で借上げ
(マイクロバス代 1人5,000円 個人負担) 参加費 県子連負担

エ 内 容 開会式・表彰式、記念式典、運動方針、シンポジウム、地域イベント、ワークショップ、研究発表、研究協議、情報交換、子ども会育成フォーラム、閉会式(予定)

<広 報 部> 【重点目標：県子連情報や地域子ども会の活動紹介を通して、魅力ある広報活動を推進しよう。】**1 県子連だより「ニイガタ子ども会」の発行**

第117号 平成27年6月12日(金) 発行 第118号 平成27年11月13日(金) 発行

第119号 平成28年3月11日(金) 発行

おめでとうございます 平成27年度県子連表彰・平成26年度全子連表彰

(敬称略)

1 育成者・指導者の部 (7人)

No	市区町村	氏 名	活動歴	所属子ども会等
1	新潟市	近 藤 義 衛	5年	新潟市子ども会連絡協議会
2	見附市	板 垣 秀 幸	16年	今町地区青少年育成会
3	〃	徳 橋 光 子	13年	〃
4	〃	桜 井 治	16年	〃
5	板倉区	小 林 正 之	7年	板倉区子ども会育成連絡協議会
6	新発田市	大 山 正 義	8年	御幸町3・4丁目子ども会
7	加茂市	阿 部 ゆかり	9年	加茂市青少年育成団体連絡協議会

2 ジュニアリーダーの部 (5人)

No	市区町村	氏 名	活動歴	所属子ども会等
1	板倉区	小 林 和 真	6年	板倉区子ども会育成連絡協議会
2	〃	嶋 田 卓 也	6年	〃
3	〃	金 子 直 樹	6年	〃
4	〃	目 黒 瞳	6年	〃
5	〃	新 井 瑞 希	6年	〃

3 団体の部 子ども会 (6団体)

No	市区町村	団 体 名	活動歴	代表者氏名
1	長岡市	妙見子ども会	49年	小 川 美津夫
2	十日町市	小原子ども会	30年	樋 口 典 子
3	〃	干溝子ども会	30年	廣 田 綾 香
4	〃	荒屋子ども会	30年	山 崎 晶 子
5	〃	山崎子ども会	30年	上 村 齊
6	〃	通り山子ども会	30年	岩 佐 公 輝

4 全子連表彰 (平成26年度)

(1) 子ども会の部

該当なし

(2) 個人の部

- ・全国子ども会育成中央会議・研究大会で受賞
- ・期 日 平成27年2月20日
- ・会 場 愛知県名古屋市 中区役所ホール
- ・受賞者



表 彰 状	感 謝 状
反 町 幸 男 (新潟市)	反 町 れ い
上 野 一 美 (上越市頸城区)	上 野 美津子
	武士俣 昭 司 (三条市)

ますますのご活躍を!!



子供は地域の
宝、財産です

見附市今町地区青少年育成会

板垣 秀幸

高い所からではありませんが、受賞者を代表して、お礼の言葉を述べさせていただきます。

先輩からさそわれてPTA活動に関わったことから、地域の子どもたちとの接点が多くなってまいりました。市の青少年指導員、青少年育成会など諸々の活動から、一泊二日のキャンプ、市をまたぐ嵐南郷親善野球大会、公民館との子ども支援事業など土曜・日曜の開催がほとんどで、いそがしく感じられる時多くありました。それぞれの事業が終わると、充実感、達成感が強く感じられて、もう少し頑張ろうと思えるものでした。ここまでの長い間継続できましたのは、数々の先輩・地域の方々に、支えられてきたからだと思います。

子どもたちの笑顔は、地域の宝であり財産です。四十周年の節目にあたりそれぞれの子ども会関係者が、今以上に手をたずさえて盛会になります事を、御祈念いたします。

本日の表彰は、私たち受賞者への励ましとして、今後も皆様と共に歩んでいきたいと思っております。どうもありがとうございました。

平成26年度 通常会計収支決算書

1. 収入の部

収入減は△ (単位:円)

科 目	26年度予算額	26年度決算額	比較増減	備 考
1 会 費	6,900,000	6,745,700	△ 154,300	一律@100円×67,457人 (子ども 43,350人 おとな 24,107人)
2 県 費 補 助 金	192,000	192,000	0	
3 受 託 事 業 助 成 金	0	0	0	
4 雑 収 入	117	666	549	預金利息 (4月371円、10月295円)
5 繰 越 金	935,883	935,883	0	
合 計	8,028,000	7,874,249	△ 153,751	

2. 支出の部

支出増は△

科 目	26年度予算額	26年度決算額	比較増減	備 考
1 事 業 費	1,760,000	1,516,865	243,135	
① 表 彰 費	80,000	59,930	20,070	個人、団体、楯等
② 広 報 費	500,000	389,337	110,663	県子連だよりの発行 第114号～116号
③ 指 導 者 研 修 会	200,000	88,520	111,480	KYT等指導者研修会
④ J L 中 級 研 修 会	200,000	199,078	922	要項印刷 大畑少年センター
⑤ 地区別子ども会交歓大会	400,000	400,000	0	4地区 (上・中・下・佐渡)
⑥ 地区活動推進費	120,000	120,000	0	4地区 (上・中・下・佐渡)
⑦ 加 入 促 進 費	260,000	260,000	0	4地区 (上・中・下・佐渡)
2 大会参加費等	750,000	467,652	282,348	
① 関プロ地区子ども会育成研究協議会	250,000	153,344	96,656	第47回千葉県 参加者24人
② 関プロ地区子ども会JL大会	200,000	114,288	85,712	第42回神奈川県 参加者4人
③ 全国子ども会SL研究集会	100,000	19,076	80,924	第1回SL研修会 東京オリセン 参加者2人
④ 全国子ども会育成中央会議	200,000	180,944	19,056	第48回 参加者7人 会場:名古屋市
3 積 立 金	450,000	650,000	△ 200,000	
① 第53回関プロ育成研積立金	200,000	300,000	△ 100,000	平成32年大会 新潟県
② 第50回関プロJL大会積立金	50,000	100,000	△ 50,000	平成34年大会 新潟県
③ 創立40周年記念積立金	150,000	200,000	△ 50,000	平成28年度 記念式典(H27年度中に準備)
④ 退職引当金	50,000	50,000	0	
4 会 議 費	1,110,000	858,042	251,958	
① 総 会 費	300,000	242,736	57,264	第39回 妙高市
② 会 長 会 議	300,000	252,956	47,044	東京3回 関プロ会長会議 全国会長会議
③ 総 務 部	130,000	75,120	54,880	年4回
④ 専 門 委 員 会	80,000	44,400	35,600	年3回
⑤ 広 報 部	180,000	125,670	54,330	年8回 (子ども会だよりの編集会議)
⑥ 指 導 研 修 部	120,000	117,160	2,840	年5回 JL中級研修会の会議
5 事 務 局 費	1,870,000	1,640,694	229,306	
① 旅 費	210,000	180,150	29,850	監査委員会 事務担当者会議等
② 通 信 運 搬 費	300,000	301,384	△ 1,384	市町村への郵送 切手 電話 HP 等
③ 印 刷 費	200,000	157,872	42,128	封筒 KYT活用パンフレット
④ 消 耗 品 費	240,000	191,490	48,510	事務用品 等
⑤ 備 品 費	100,000	51,800	48,200	金庫、椅子
⑥ 事 務 所 賃 借 料	550,000	540,000	10,000	事務所家賃
⑦ 光 熱 水 費	80,000	34,598	45,402	〃 光熱水費
⑧ 借 損 費	160,000	158,000	2,000	印刷機・コピー機・パソコン等リース代
⑨ 渉 外 費	30,000	25,400	4,600	下部団体祝い金 慶弔金 等
6 人 件 費	1,870,000	1,618,780	251,220	
① 賃 金	1,740,000	1,552,000	188,000	事務局員2人
② 通 勤 費	130,000	66,780	63,220	〃
7 分 担 費	168,000	168,000	0	
① 全国子ども会連合会	100,000	100,000	0	
② 第47回関プロ育成研	30,000	30,000	0	千葉県成田市
③ 第42回関プロ子ども会JL大会	20,000	20,000	0	神奈川県厚木市
④ 青少年育成県民会議	3,000	3,000	0	新潟県自治会館
⑤ 社会教育団体懇談会	4,000	4,000	0	
⑥ 関プロ地区子ども会育成連絡協議会	5,000	5,000	0	千葉県
⑦ 白山浦1丁目自治会費	6,000	6,000	0	@500円×12ヶ月
⑧ 財団法人オイスカ	0	0	0	
8 予 備 費	50,000	39,374	10,626	
合 計	8,028,000	6,959,407	1,068,593	

3. 残高の部

収入総額 7,874,249 - 支出総額 6,959,407 = 残高の部 914,842

平成27年度 通常会計収支予算書

1. 収入の部

収入減は△ (単位:円)

科	目	26年度予算額	27年度予算額	比較増減	備 考
1	会 費	6,900,000	6,500,000	△ 400,000	一律@100円×65,000人 (子ども 42,000人 おとな 23,000人)
2	県 費 補 助 金	192,000	192,000	0	
3	受 託 事 業 助 成 金	0	0	0	
4	雑 収 入	117	158	41	預金利息
5	繰 越 金	935,883	914,842	△ 21,041	
	合 計	8,028,000	7,607,000	△ 421,000	

2. 支出の部

支出減は△

科	目	26年度予算額	27年度予算額	比較増減	備 考
1	事 業 費	1,760,000	1,700,000	△ 60,000	
	① 表 彰 費	80,000	80,000	0	個人・団体、ガラス楯、額
	② 広 報 費	500,000	450,000	△ 50,000	県子連だよりの発行(117~119号)
	③ 指 導 者 研 修 会	200,000	170,000	△ 30,000	KYT講習会等
	④ J L 中 級 研 修 会	200,000	220,000	20,000	年3回
	⑤ 地 区 別 子 ども 会 交 歓 大 会	400,000	400,000	0	4 地区 (上・中・下・佐渡)
	⑥ 地 区 活 動 推 進 費	120,000	120,000	0	4 地区 (上・中・下・佐渡)
	⑦ 加 入 促 進 費	260,000	260,000	0	4 地区 (上・中・下・佐渡)
2	大 会 参 加 費 等	750,000	650,000	△ 100,000	
	① 関プロ地区子ども会育成研究協議会	250,000	200,000	△ 50,000	第48回群馬県 参加者30人
	② 関プロ地区子ども会JL大会	200,000	200,000	0	第43回静岡県 参加者10人
	③ 全国子ども会SL研究集会	100,000	50,000	△ 50,000	東京オリセン 参加者4~5人
	④ 全国子ども会育成中央会議	200,000	200,000	0	第49回中央会議 会場:群馬県(伊香保町)
3	積 立 金	450,000	250,000	△ 200,000	
	① 第53回関プロ育成研積立金	200,000	100,000	△ 100,000	平成32年:第53回新潟県大会
	② 第50回関プロJL大会積立金	50,000	50,000	0	平成34年:第50回新潟県大会
	③ 創立40周年記念積立金	150,000	50,000	△ 100,000	平成28年度 記念式典
	④ 退 職 引 当 金	50,000	50,000	0	
4	会 議 費	1,110,000	1,080,000	△ 30,000	
	① 総 会 費	300,000	300,000	0	第40回 南魚沼市(参加旅費一部補助)
	② 会 長 会 議	300,000	300,000	0	東京3回 周年記念 関プロ会長会議
	③ 総 務 部	130,000	110,000	△ 20,000	年3回
	④ 専 門 委 員 会	80,000	70,000	△ 10,000	年3回
	⑤ 広 報 部 (編 集 委 員 会)	180,000	180,000	0	年6回(子ども会だよりの編集会議)
	⑥ 指 導 研 修 部	120,000	120,000	0	年6回(JL中級研修会の会議)
5	事 務 局 費	1,870,000	1,830,000	△ 40,000	
	① 旅 費	210,000	210,000	0	監査委員 事務担当者会議等
	② 通 信 運 搬 費	300,000	300,000	0	市町村への郵送 切手 電話 インターネット等
	③ 印 刷 費	200,000	200,000	0	封筒・ハガキ印刷 加入促進パンフレット
	④ 消 耗 品 費	240,000	220,000	△ 20,000	事務用品 等
	⑤ 備 品 費	100,000	80,000	△ 20,000	冷暖房器具
	⑥ 事 務 所 賃 借 料	550,000	550,000	0	事務所家賃
	⑦ 光 熱 水 費	80,000	80,000	0	〃 電気、ガス、水道
	⑧ 借 損 費	160,000	160,000	0	印刷機・コピー機・パソコン・プリンタ等リース代
	⑨ 渉 外 費	30,000	30,000	0	下部団体祝い金 慶弔金 等
6	人 件 費	1,870,000	1,870,000	0	
	① 賃 金	1,740,000	1,740,000	0	事務局員2人
	② 通 勤 費	130,000	130,000	0	〃
7	分 担 費	168,000	168,000	0	
	① 全 国 子 ども 会 連 合 会	100,000	100,000	0	
	② 第46回関プロ育成研	30,000	30,000	0	群馬県
	③ 第41回関プロ子ども会JL大会	20,000	20,000	0	静岡県
	④ 青少年育成県民会議	3,000	3,000	0	新潟県
	⑤ 社会教育団体懇談会	4,000	4,000	0	
	⑥ 関プロ地区子ども会育成連絡協議会	5,000	5,000	0	事務局 群馬県
	⑦ 白山浦1丁目自治会費	6,000	6,000	0	@500円×12ヶ月
	⑧ 財団法人オイスカ	0	0	0	
8	予 備 費	50,000	59,000	9,000	
	合 計	8,028,000	7,607,000	△ 421,000	

平成26年度 安全共済金給付状況

27.3.31現在

No	市町村	性別	学年	行 事 名	事 故 概 要	傷 病 名	部位	通院	入院
1	長岡市	男		町内クリーン作戦・資源回収	トラックに資源回収品を横込む時に腰を痛める。(持病はなし)	腰痛	腰	1	
2	小国町	男		クリーン作戦・看板取付	看板取り付け時、誤って指をハンマーで叩いた。	骨折	指	8	
3	長岡市	男	3	子どもフェスティバル	参加コーナーの「モンキーブリッジ」を体験中に足首をひねる。	腱鞘炎	足	1	
4	上越市	男	5	親子レクリエーション	近くにいた子供が持っていたボールが被害者のつま先に落ちた。	打撲	足	2	
5	長岡市	女	1	子どもフェスティバル	昼食中、イベントで提供された豚汁を膝の上にこぼしてしまった。	火傷	足	2	
6	新潟市	男	4	スケート教室	滑走中に後ろから来た人とぶつかり転倒。	捻挫	腕	2	
7	柏崎市	女		地下道清掃	清掃中にチャドクガに接触。全身に湿疹が出る。	虫刺され	全身	1	
8	〃	男	1	〃	〃	〃	〃	1	
9	〃	男	6	〃	〃	〃	〃	1	
10	〃	女	6	〃	〃	〃	〃	1	
11	〃	女	6	〃	〃	〃	〃	1	
12	〃	女		〃	〃	〃	〃	1	
13	〃	女	2	〃	〃	〃	〃	1	
14	〃	男	4	〃	〃	〃	〃	1	
15	新潟市	男	6	体験学習	滑走中に転倒、左目横を強打。	打撲・脳震盪	頭	1	
16	新潟市	男	2	ボウリング大会	2 ゲーム目開始前に滑って転倒。足首を負傷。	骨折	足	6	
17	上越市	女	4	夏季鍛錬	指導者の下キンボールでゲーム中、ボールを止めるため激しくぶつかった。左手首を負傷。	骨折	手	4	
18	新潟市	女	2	スケート体験	滑走中に転倒。右足すね部分を負傷。	骨折	足	13	
19	長岡市	女		日帰り旅行	滑走中に我が子が後ろから衝突し、左手を氷上についたまま転倒。	骨折	手	7	
20	板倉区	女	1	部落トレセン	自由時間、他の児童と遊んでいたとき、転倒しどうにもなり身体を支えようと床に手を着いたら骨折。	骨折	手	14	4
21	長岡市	女		夏祭り子供みこし	みこし巡回に出発するため、公園内から敷地に通じる芝生の上で足を滑らせて転倒。	骨折	手	17	6

平成25年度 安全共済金給付状況 (平成26年度継続治療分)

No	市町村	性別	学年	行 事 名	事 故 概 要	傷 病 名	部位	通院	入院
1	三条市	男	6	ウィンターキャンプ	一日目、入浴後に体調不良。高熱があらリインフルエンザを罹患し救急搬送した。	流行性感冒	全身	1	
2	柏崎市	男	2	クリスマスお楽しみ会	行事中に会場を走って転倒。	骨折	足	7	

県子連発足以来の見舞金・共済金給付状況

昭和51年度	222,800円	昭和61年度	1,355,720円	平成8年度	1,002,970円	平成18年度	848,800円
昭和52年度	538,950円	昭和62年度	1,745,170円	平成9年度	967,470円	平成19年度	963,875円
昭和53年度	632,300円	昭和63年度	1,159,410円	平成10年度	966,500円	平成20年度	371,947円
昭和54年度	842,930円	平成元年度	1,036,070円	平成11年度	828,000円	平成21年度	948,740円
昭和55年度	1,042,590円	平成2年度	1,404,596円	平成12年度	788,000円	平成22年度	1,530,590円
昭和56年度	1,314,510円	平成3年度	1,420,587円	平成13年度	1,403,200円	平成23年度	598,310円
昭和57年度	1,105,680円	平成4年度	1,126,524円	平成14年度	966,800円	平成24年度	476,819円
昭和58年度	1,554,420円	平成5年度	1,028,215円	平成15年度	469,200円	平成25年度	854,766円
昭和59年度	1,484,940円	平成6年度	1,118,800円	平成16年度	774,500円	平成26年度	578,670円
昭和60年度	1,203,470円	平成7年度	1,124,310円	平成17年度	574,200円		

総 計 38,375,349円

死亡・後遺障害	昭和51年度	700,000円(死亡)	平成6年度	70,000円(後遺障害)	平成16年度	70,000円(後遺障害)1件
	昭和59年度	3,000,000円(死亡)	平成8年度	315,638円(賠償責任)2件	平成18年度	210,000円(後遺障害)2件
	平成元年度	70,000円(後遺障害)	平成10年度	58,800円(賠償責任)	平成19年度	6,000,000円(死亡)1件
	平成2年度	705,000円(後遺障害)	平成11年度	43,300円(賠償責任)2件	平成20年度	163,135円(後遺1,賠償2)
	平成3年度	140,000円(後遺障害)2件	平成12年度	140,000円(後遺障害)2件	平成21年度	70,000円(後遺障害)1件
	平成4年度	70,000円(後遺障害)	平成13年度	210,000円(後遺障害)2件	平成22年度	108,305円(後遺1,賠償2)
	平成5年度	70,000円(後遺障害)				

県子ども会連絡協議会 E-Mail n-kodomo@sage.ocn.ne.jp

編集発行 新潟県子ども会連絡協議会
 〒九五一一八三三
 新潟市中央区白山浦一三〇〇
 電話 〇五一一三〇一五九八
 FAX 〇五一一三〇一五九二

〇今年度も年三回の県子連だよりの発行を計画しております。
 広報・編集委員の皆さんも校正等に頑張っております。原稿依頼がありましたらご協力をよろしくお願い致します。(文責:板垣)

〇また、県子連役員の皆さんも会場設営や資料の袋詰め等、一致協力して仕事を進めるなど、全員参加の県子連の姿勢が表れた場面でした。

〇快晴の下、遠くの山並みには残雪の残る南魚沼市の塩沢公民館で平成二十七年県子連総会が開催されました。
 南魚沼市教育委員会様、南魚沼市子連の皆様には多大なるご支援をいただきました。深く感謝申し上げます。

あとかぎ